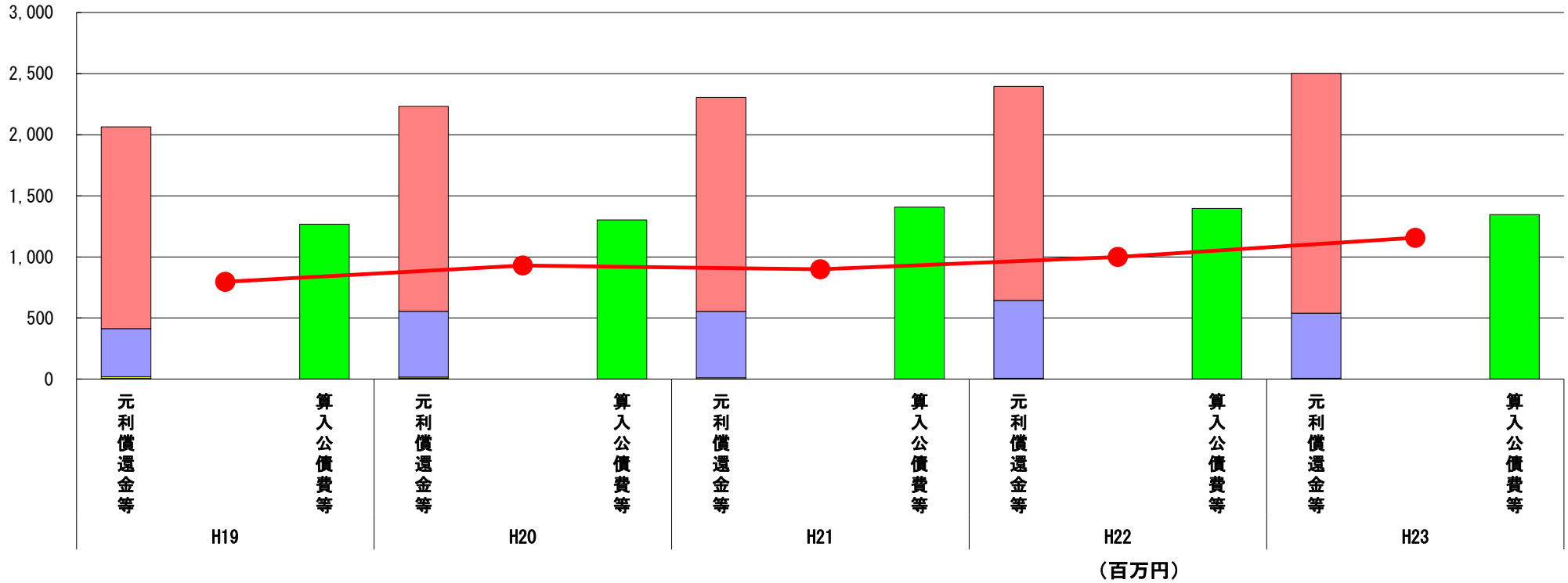


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

北海道白老町

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,651	1,677	1,753	1,753	1,963
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		394	538	543	636	532
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		13	12	9	6	6
	一時借入金の利子		6	5	1	1	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,268	1,302	1,407	1,396	1,346
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		796	930	899	1,000	1,156

**分析欄**

実質公債費比率については、地方港湾白老港建設事業を始め、過去からの大型事業の実施に伴い、高い推移順で推移している。特に、平成23年度決算においては、第3セクター改革推進債の元利償還金の増加などを背景として、過去にもまして数値の上昇を招いている。今後は、普通建設事業等の抑制による新規地方債発行の抑制に努め、早期に指標の改善を実現できるよう計画的な財政運営に努めたい。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。